

【はじめに】

こんにちは。芸術文化学科の大木泉水です。若緑が香る澄んだ 5 月、と思いきや、イタリア北部では災害級の雨が降る日がありました。日本の地震や降雨による被害、不穏なニュースも耳に入っています。みなさんもお気をつけてお過ごしください。

【生活】

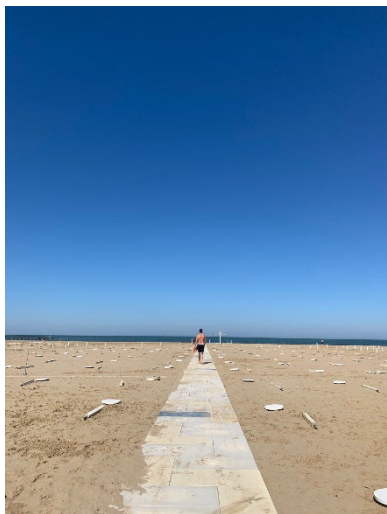
5 月は授業が終わって解放感がありましたが、生活スタイルの変化や将来へのモヤモヤが重なり気持ちが少し苦しい日々でした。8 人のルームメイトとの生活は、料理をしたり映画を見たりと楽しいことも多いのですが、やはり言語の壁やカルチャーショックを受けることも多く、留学前のイメージとは違う現実ではあります。それでも、私の誕生日があった週末にはみんなでラザニアを作って、サプライズの誕生日のお祝いをされて、私のことを考えて選んでくれたプレゼントを受け取りました。恥ずかしかったのですが、嬉しくて手が震えてしまいました。嬉しい出来事に反して、5 月いっぱい同部屋だったフランス人のルームメイトが故郷に帰ってしまいました。ルームシェア生活は、完全なプライベートがないため一人きりになる時間が必要だとも感じていました。5 月は散歩をしてリフレッシュをすることや、緑の多い公園やバールで作業をすることを選ぶようになりました。それでも、ルームメイトたちが帰省などで家がカランとしていると寂しくなります。

5 月下旬には、アメリカの大学に通う中国人の留学生の友達がアメリカに帰ってしまいました。最後の日をミラノで一緒に過ごしました。アジア人として、アジアンヘイトについてお互いの感覚を話すことがこれまでであったのですが、最後の晚餐中に、軽いアジアンヘイトに遭いました。最後がこんな風になってしまっ、て、彼女はとても怒っていて、私も悔しかったのですが、全ての人がそうではないし、自覚なく侮辱や差別をする言動をしてしまう人が多いのですぐには改善されない問題だと感じています。留学を通しての新たな気づきで、自分もそのような言動があったかもしれないと省みるようになりました。

【旅行】

一人で海沿いのリミニを旅行することからはじまった 5 月。リミニには「イタリアのマイアミ」とも呼ばれる壮大なビーチがあり、バカンスの時期には世界中から観光客が集まります。透き通った波打ち際を裸足で何も考えずに歩きました。リミニからサンマリノという小さな国に簡単に行けることを知り、バスで 1 時間かけて行ってきました。サンマリノは小高い丘の上にあり、イタリアの一部のようなのに、イタリアではない、というのが不思議で、サンマリノからしか使えない切手を記念に購入して実家にはがきを送りました。イタリアでの特別な日常からの逃避はいつも少し贅沢だと感じます。その次の週には、アルベロベッロとマテーラに行きました。ちょうど私の誕生日で、夕食はとても素敵

なレストランで美味しいワインとパスタをお腹いっぱい食べて幸せでした。マテーラは洞窟遺跡群があります。イタリアには世界遺産が多すぎて、どこにいても景色が違うのが深みのある特色だと感じます。アルベロベッロとマテーラで好んで食べたものは、オレッキエツテというパスタでした。円の中心がくぼんだ形状をしているショートパスタで、オレッキエツテ（orecchiette）は orecchia「耳状のもの」+ette「縮めた」という意味を持ちます。イタリアのパスタの名称は、その形や大きさが似ているものの単語を持っているので、単語さえなんとなく分かれば、形が分からなくてもどんなものか推測ができます。こんな小さなことから、イタリア語を学んできた実感がわきます。そして、街中で知り合いや友人に遭遇して挨拶をすると、イタリアに住んでいる、という実感が強くなります。そんな生活もあと2カ月弱で終わってしまいますが、この経験はすでに宝物です。



左上：リミニの海と空

中上：マテーラで景色を楽しみました^^

右上：ミラノのドゥオーモ前の騎馬像（治安悪い）

左：ルームメイトに誕生日を祝ってもらいました^^

【6月の私】

5月は読書や映画鑑賞にも夢中になりました。自由な時間は公園やバールで読書をするなど、イタリアの文化に馴染む時間が好きです。あと2か月弱しかここで生活できないので、今できることをピックアップして実行する6月にしたいと思います。帰国の際に後悔を持ち帰らないよう、イタリアの経験に誇りを持てるよう、たくさんの景色を見たいです。